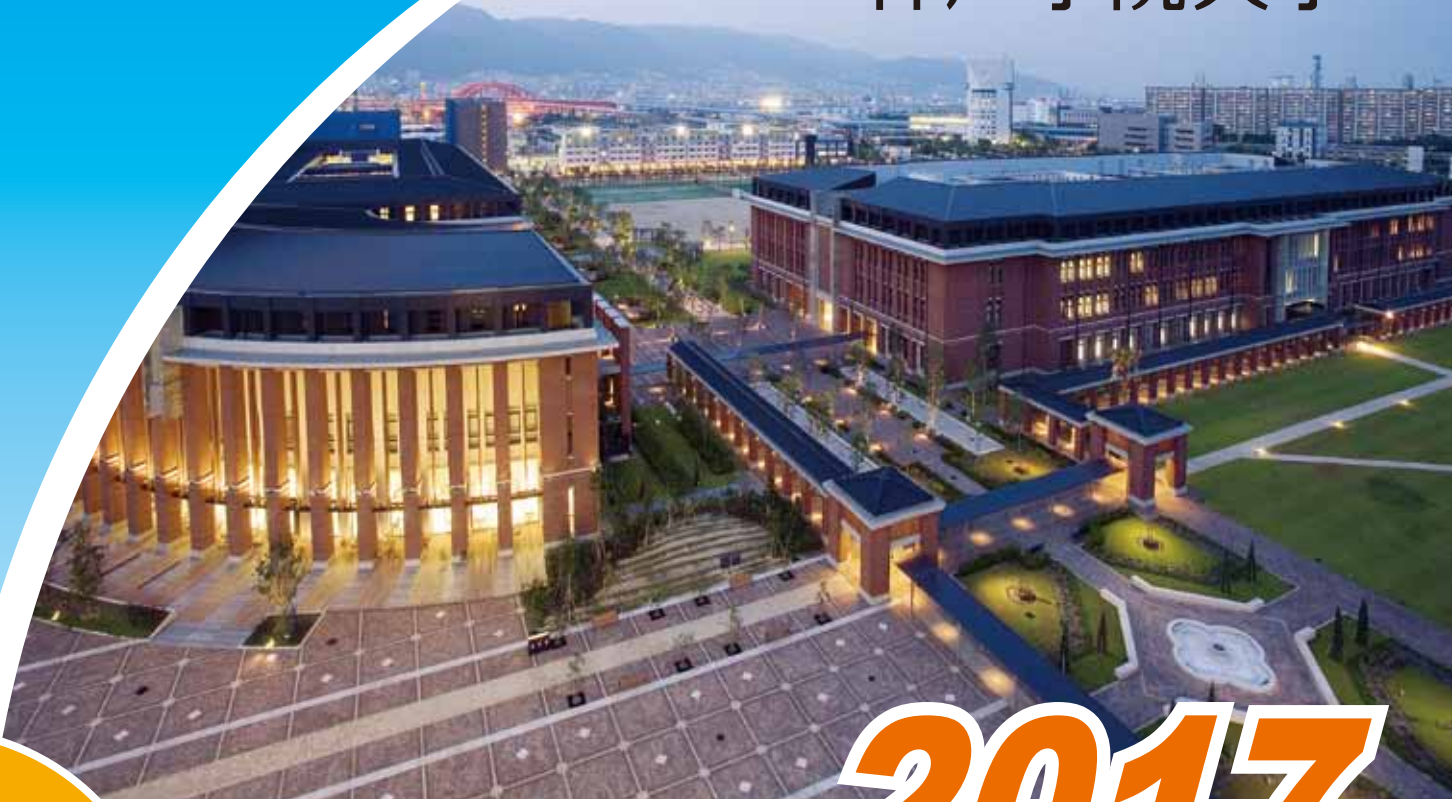


神戸学院大学



2017

共通教育センター

共通教育はやわかり



目次

共通教育センター カリキュラム・ポリシー、 および共通教育センターが目指す、学生の到達目標	1
共通教育科目 各学部の履修条件など	3
共通教育科目 開講科目一覧	4
共通教育カリキュラムで学ぶ みなさんへ!!	6

リテラシー科目群

● 外国語分野【英語】	8
【ドイツ語】	10
【フランス語】	11
【中国語】	12
【朝鮮(韓国)語】	14
● 情報分野	15
● 基礎思考分野	17
● 社会人入門分野	18

リベラルアーツ科目群

● 人文科学分野	19
● 社会科学分野	20
● 健康科学分野	21
● 健康科学分野【スポーツ科学】	22
● 地域学分野	23

各分野の開講科目は、学部学科によって異なりますので、
詳細は「履修の手引」で確認してください。

共通教育センター

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

共通教育センターの開講する共通教育科目は、言葉や情報を正確に理解し活用する能力を養成するリテラシー科目群と、人間として自由に生きるための基礎的な教養を涵養するリベラルアーツ科目群という2つの科目群によって構成されています。

◎リテラシー科目群

リテラシー科目群は、【外国語分野】・【情報分野】・【基礎思考分野】・【社会人入門分野】から成ります。

【外国語分野】では、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・朝鮮（韓国）語と留学生を対象とした日本語の各科目を提供します。バランスのとれたコミュニケーション能力の育成を重視するとともに、専門教育との関連付けにも留意しながら授業を進めます。また、到達水準を客観的に測ることができるよう、各種検定試験に対応した科目も開設します。

【情報分野】では、文書作成ソフトや表計算ソフトなどを使いこなせるようにするための基礎情報処理実習と、それらを活用して実践的場面で使えるようにするための情報処理応用の2種類の科目を提供します。社会人として大学卒業までに身に付けておくべき情報活用力を修得させるとともに、各種資格試験にも対応した授業を行ないます。

【基礎思考分野】では、レポート・小論文・電子メールなどの文章を作成する能力を向上させるための科目や、社会の動きや国際情勢を見る目を養うための科目を提供します。また、公務員試験や就職試験への対策にも有効な科目を提供します。特に公務員試験に対しては、課外講座と併せて履修することで、実力をより向上させます。

【社会人入門分野】では、就業力を高めるための科目を体系的に提供します。1年次では自己理解や自己分析を通して自分自身のキャリアデザインを考えさせます。2年次では体験プログラムやケーススタディーなどを通して自己理解を深めさせます。3年次ではフィールドワークや講演を通して実践的就業力を向上させます。また、実学的関連科目も開講します。

◎リベラルアーツ科目群

リベラルアーツ科目群は、【人文科学分野】・【社会科学分野】・【健康科学分野】・【地域学分野】から成ります。それぞれの分野の第1セメスターには入門科目を配置し、第2セメスター以降でさまざまな科目を提供します。また、各分野とも少人数で特定のテーマを掘り下げるための演習科目を開講します。演習科目では所属学部以外の学生と共に学ぶことを可能とします。

【人文科学分野】では、欧米・アジア・アフリカ・日本のさまざまな社会や文化を学ぶための科目を提供します。

【社会科学分野】では、現代社会を法律・政治や経済・経営などの側面から学ぶための科目を提供します。

【健康科学分野】では、心理学・リハビリテーション学・栄養学・薬学などの領域に属する科目を提供します。また、スポーツ科学の領域ではさまざまなスポーツを実践したり実技の理論を理解したりするための科目を提供します。

【地域学分野】では、大学周辺の地域を学ぶ地域学に関する科目や観光都市神戸にある大学で学ぶに相応しい観光学に関する科目、また防災や社会貢献に関する科目などを提供します。

共通教育センターが目指す、学生の到達目標

神戸学院大学の全学ディプロマ・ポリシーのもとに、共通教育センターでは以下の通り共通教育センターが目指す、学生の到達目標を定めています。

- 文化・社会・自然に関する広く豊かな知識を備え、それを社会に役立てることができる。
- 学修した知識・技能を活用して、人との円滑な交流を行ない、自立した生活を送ることができる。
- 高い倫理観・責任感を備えた社会人として行動することができる。
- 自立的な学習基盤を備え、生涯学び続けていくことができる。

共通教育科目 各学部の履修条件など

(2017年度入学生)

学部学科		卒業所要単位	履修制限	1年次で必ず履修しなければならない科目									
法学部		24～34単位 (外国語8単位を含む)	専門教育科目とあわせて各学期24単位以内										
経済学部		24～32単位 (外国語8単位を含む)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年次</th> <th>2～4年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期</td> <td>12単位以内</td> <td>専門教育科目とあわせて24単位以内</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>12単位以内</td> <td>専門教育科目とあわせて24単位以内</td> </tr> </tbody> </table>		1年次	2～4年次	前期	12単位以内	専門教育科目とあわせて24単位以内	後期	12単位以内	専門教育科目とあわせて24単位以内	基礎情報処理実習Ⅰ・Ⅱ
	1年次	2～4年次											
前期	12単位以内	専門教育科目とあわせて24単位以内											
後期	12単位以内	専門教育科目とあわせて24単位以内											
経営学部		24単位 (外国語8単位を含む)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年次</th> <th>2～4年次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期</td> <td>12単位以内</td> <td>専門教育科目とあわせて24単位以内</td> </tr> <tr> <td>後期</td> <td>12単位以内</td> <td>専門教育科目とあわせて24単位以内</td> </tr> </tbody> </table>		1年次	2～4年次	前期	12単位以内	専門教育科目とあわせて24単位以内	後期	12単位以内	専門教育科目とあわせて24単位以内	基礎情報処理実習Ⅰ・Ⅱ
	1年次	2～4年次											
前期	12単位以内	専門教育科目とあわせて24単位以内											
後期	12単位以内	専門教育科目とあわせて24単位以内											
人文学部	人文	34単位 (リテラシー科目群外国語分野12単位、リベラルアーツ科目群3分野から6単位を含む)	専門教育科目とあわせて各学期24単位以内	外国語科目2言語 基礎情報処理実習Ⅰ・Ⅱ 文章表現Ⅰ・Ⅱ									
	心理	34単位 (リテラシー科目群14単位、リベラルアーツ科目群3分野から6単位を含む)	専門教育科目とあわせて各学期24単位以内	外国語科目2言語 基礎情報処理実習Ⅰ・Ⅱ 文章表現Ⅰ・Ⅱ									
現代社会学部	現代社会	24単位 (外国語8単位を含む)	専門教育科目とあわせて各学期24単位以内	基礎情報処理実習Ⅰ・Ⅱ									
	社会防災	24単位 (外国語8単位を含む)	専門教育科目とあわせて各学期24単位以内	基礎情報処理実習Ⅰ・Ⅱ									
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション	24単位 (リテラシー科目群外国語分野8単位、リベラルアーツ科目群3分野から6単位を含む)	専門教育科目とあわせて各学期24単位以内	【英語コース】 初級中国語Ⅰ ab・Ⅱ ab 基礎情報処理実習Ⅰ・Ⅱ 【中国語コース】 標準英語Ⅰ ab・Ⅱ ab 基礎情報処理実習Ⅰ・Ⅱ 【日本語コース】 英語(標準英語Ⅰ ab・Ⅱ ab)または中国語(初級中国語Ⅰ ab・Ⅱ ab)から「第一言語(母国語)」を除く言語を一つ選択 基礎情報処理実習Ⅰ・Ⅱ 日本事情Ⅰ									
総合リハビリテーション学部	理学	10単位	専門教育科目とあわせて 1年次前期26単位以内、1年次後期23単位以内、 2年次以降は各学期24単位以内	標準英語Ⅰ ab・Ⅱ ab									
	作業	10単位	専門教育科目とあわせて 1年次前期27単位以内、1年次後期22単位以内、 2年次以降は各学期24単位以内	標準英語Ⅰ ab・Ⅱ ab									
	社会	10～34単位	1年次及び2年次前期は専門教育科目とあわせて 各学期29単位以内 2年次後期よりコース選択制 【社会福祉士コース】 専門教育科目とあわせて各学期29単位以内 【生活福祉デザインコース】 専門教育科目とあわせて各学期24単位以内	標準英語Ⅰ ab・Ⅱ ab									
栄養学部		0～12単位	履修制限なし	基礎情報処理実習Ⅰ 基礎情報処理実習Ⅱ (生命栄養学専攻のみ)									
薬学部		16単位	1年次は各学期24単位以内 2年次以降は専門教育科目とあわせて年間55単位以内										

法学部・経済学部・総合リハビリテーション学部社会リハビリテーション学科・栄養学部については、専門教育科目の単位修得状況により卒業所要単位として算入できる共通教育科目の単位が異なります。

履修条件について、詳しくは各学部の『履修の手引』をご覧ください。

共通教育科目 開講科目一覧

学年 区分	1年次						2年次																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	第1 Semester			第2 Semester			第3 Semester																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	科	目	名	単位数	科	目	名	単位数	科	目	名	単位数																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
リテラシー科目群	外国語分野	標準英語 I a	1	標準英語 II a	1	標準英語 III a	1	標準英語 III b	1	実践英語 I	1	実践英語 II	1	実践英語 III	1	英会話 II	1	英文リーディング II	1	初級ドイツ語 I a	1	初級ドイツ語 II a	1	中級ドイツ語 I a	1	初級ドイツ語 I b	1	初級ドイツ語 II b	1	中級ドイツ語 I b	1	初級フランス語 I a	1	初級フランス語 II a	1	中級フランス語 I a	1	初級フランス語 I b	1	初級フランス語 II b	1	中級フランス語 I b	1	初級中国語 I a	1	初級中国語 II a	1	中級中国語 I a	1	初級中国語 I b	1	初級中国語 II b	1	中級中国語 I b	1	中国語入門会話 I	1	中国語入門会話 II	1	中国語基礎会話 I	1	初級朝鮮(韓国)語 I a	1	初級朝鮮(韓国)語 II a	1	中級朝鮮(韓国)語 I a	1	初級朝鮮(韓国)語 I b	1	初級朝鮮(韓国)語 II b	1	中級朝鮮(韓国)語 I b	1	日本語 I	1	日本語 V	1	日本語 IX	1	日本語 II	1	日本語 VI	1	日本語 X	1	日本語 III	1	日本語 VII	1	日本語 IV	1	日本語 VIII	1	情報分野	基礎情報処理実習 I	1	基礎情報処理実習 II	1	基礎情報処理実習 III	1	基礎情報処理実習 IV	1	情報処理応用 I	1	情報処理応用 III	1	情報処理応用 V	1	情報処理応用 II	1	情報処理応用 IV	1	分基礎思考分野	文章表現 I	2	文章表現 II	2	文章読解 II	2	文章読解 I	2	数論的思考 I	2	数論的思考 II	2	時事・現代用語 I	2	時事・現代用語 II	2	時事・現代用語 III	2	入門社会人分野	就業力講座 I	2	就業力講座 II	2	就業力講座 III	2	就業力講座 IV	2	リベラルアーツ科目群	人文科学分野	人文科学入門 I	2	欧米の社会と文化 I	2	欧米の社会と文化 II	2	人文科学入門 II	2	アジア・アフリカの社会と文化 I	2	アジア・アフリカの社会と文化 II	2	日本の歴史と文化 I	2	日本の歴史と文化 II	2	現代社会と人類学	2	現代社会と心理学	2	ジェンダー論	2	人文科学演習 A	2	芸術演習 A	2	芸術演習 B	2	社会科学分野	社会科学入門 I	2	法と社会 I	2	法と社会 II	2	社会科学入門 II	2	現代の政治	2	現代の国際関係	2	現代の経済 I	2	現代の経済 II	2	現代の経営 I	2	現代の経営 II	2	情報と社会	2	現代の社会	2	社会科学演習 A	2	社会科学演習 B	2	健康科学分野	健康科学入門	2	食の科学 I	2	食の科学 II	2	スポーツ科学入門	2	薬の科学 I	2	薬の科学 II	2	環境の科学 I	2	環境の科学 II	2	現代の医療と福祉 I	2	現代の医療と福祉 II	2	現代の障害者問題	2	食薬文化論	2	ここらの科学	2	スポーツと健康 II	2	ヒトの科学	2	健康科学演習 A	2	スポーツ科学演習 A	2	健康科学演習 B	2	地域学分野	地域学入門 I	2	地域学講義 I	2	地域学講義 IV	2	地域学入門 II	2	地域学講義 II	2	地域学講義 V	2	地域学講義 III	2	地域学講義 VI	2	観光学講義 I	2	地域学講義 VII	2	観光学講義 II	2	地域学講義 VIII	2	海外地域研修 I	2	観光学講義 III	2	海外地域研修 II	2	観光学講義 IV	2	海外地域研修 III	2	地域学演習 A	2	地域学演習 B	2	地域学演習 C	2	日本事情 I	2	日本事情 II	2	地域コミュニティ入門	2	防災・防犯ワークショップ	2	地域連携インターンシップ I	1	防災・防犯入門	2	健康づくり・生活支援ワークショップ	2	健康づくり・生活支援入門	2	防災・防犯指導論実習	1	健康・生活支援指導論実習	1	社会貢献学入門	2	健康・生活支援指導論実習	1	人間関係作りワークショップ	2

<注1>開講科目と履修対象科目は学部により異なりますので「履修の手引」で確認してください。
 <注2>日本語 I～日本語 XI は外国人留学生対象科目です。

2年次				3年次			
第4セメスター				第5セメスター		第6セメスター	
科	目	名	単位数	科	目	名	単位数
標準英語	IV	a	1	実用英語	I		
標準英語	IV	b	1	英文リーディング	IV		
実践英語	IV		1				
英会話	III		1				
英文リーディング	III		1				
中級ドイツ語	II	a	1	実用ドイツ語	I		
中級ドイツ語	II	b	1				
中級フランス語	II	a	1	実用フランス語	I		
中級フランス語	II	b	1				
中級中国語	II	a	1	実用中国語	I		
中級中国語	II	b	1	中国語会話	I		
中国語基礎会話	II		1	中国語リーディング	I		
中級朝鮮(韓国)語	II	a	1	実用朝鮮(韓国)語	I		
中級朝鮮(韓国)語	II	b	1				
日本語	XI		1				
日本語	XII		1				
基礎情報処理実習	V		1				
基礎情報処理実習	VI		1				
情報処理応用	VI		1				
文章読解	III		2	文章読解	IV		2
数的思考	III		2	数的思考	IV		2
				社会人入門講義	I		2
講座		1		就業力講座	III		2
				産業界等連携講座			2
人文科学演習	B		2				
芸術演習	C		2				
社会科学演習	C		2				
社会科学演習	D		2				
健康科学演習	B		2				
健康科学演習	C		2				
スポーツ科学演習	C		2				
				地域学キャリア講義		2	
							2
地域学演習	C		2				
地域連携インターンシップ	II		1				

<注3> 網掛け部分の科目はポーアイ4大学共通教養科目です。履修条件等については『履修の手引』で確認してください。

<注4> 地域学分野「社会貢献学入門」は東北福祉大学および工学院大学との連携科目です。遠隔授業形式にて行います。

共通教育カリキュラムで学ぶ みなさんへ!!

新入生のみなさんは、ひとりひとりさまざまな目標や目的を持っています。大学では、自分の関心や興味を中心に学ぶことが可能ですが、それだけでは十分ではありません。学生としてあるいは人間として、神戸学院大学という共通の場で学ぶべきことがらがあります。それを実現するのが、「共通教育カリキュラム」です。

簡単に言いますと、このカリキュラムは、みなさん個人個人が抱えている希望や願望を実現する土台づくりのために必要ですが、もっと大きな普遍的な価値である「真理愛好、個性尊重」という本学の建学の精神を実現するためのものでもあります。

神戸学院大生であるアカシ!! 第一歩は「共通教育」科目から

神戸学院大学は、そうした大学の建学精神の実現が、学部教育のみならず共通教育を通して個人のうちにおいてもまた実現されることを願いながら、体系的なプログラムを組み、その実践のためにすべての分野に優秀な教員が配置されています。

大学が提供するカリキュラムは、入口から出口まで、すべて新しい視点から完璧にシステム化されており、共通教育において用意されているそれぞれのメニューは、独自の目標と価値を持ちつつ、学部教育への意義ある橋渡しの役割をも担っています。

つまり、前向きに意欲をもって学べば学ぶほど、世界の新しい局面が見えてきますし、同時にまた学部教育へのスムーズな移行と展開が行われるよう関連づけと工夫がなされているのです。

一見すると見慣れた科目名称が並んでいると思われるかもしれませんが、大学で学ぶことからは、中学や高校で学んだ既習科目の内容とは根本的に違います。そのことが少しでもわかってくると、学ぶ楽しさは倍加するでしょう。

新しい世界が見えてくる!

しかし、本当に新しい世界は、ただ面白いこととか楽しいことばかりといった世界とは違います。辛い苦い味わいもまた、新しい世界に含まれることを知らなければなりません。世界にはジレンマもあれば、トリレンマもあります。

自分なりに答えを模索しながら、勇気を持って未知の分野に挑戦していくときの喜怒哀楽を、是非とも味わってほしいと思います。どのクラスにおいても、それぞれの分野のスペシャリストが新しい学問の流れを踏まえながら、わかりやすく丁寧に教授してくれるはずです。心配はいりません。

世界を読む、自分を育てる

共通教育を学ぶねらいは、二つあります。ひとつは、急激に変化し対立と混迷を深める世界情勢の動きを広く大きな立場から読みとる力を身につけること、そして、もうひとつは、新しい基礎知識を積み上げて着実にワンランク上の自分を築くことです。

このふたつは、いわば車の両輪のようなもので、いずれの学修が不十分でも、大学生として大きく伸びていくことは期待できません。

ワンランク上を目指すための、土台作りをしよう!!

つまり、共通教育のプログラムを必要に応じてしっかりと身につけることが、いわゆる学部教育でのさらなる伸びを促すことになります。学部教育の段階にいたって、人格形成や学力がなかなか思い通りの結果と結びつかないケースをよく耳にしますが、それはひとつには、基礎教育における地道な訓練を怠ることに起因すると従来から考えられています。

共通教育のプログラムは、みなさんが将来大きく伸びていくためのスプリングボードとして用意されているのです。これを活用しない手はありません。しかし、昔から「良薬は口に苦し」と言われますように、結果として大きな結果や効果をもたらすものほど、しばしば退屈でおもしろみのない学修の過程が不可欠な場合があります。つまり、おもしろみを実感し意欲がわいてくるまでに、少し時間がかかるのです。それは、スポーツ選手がやがていつの日か輝かしい栄冠を手にするために、厳しく辛い訓練を毎日繰り返し行う必要があるのと同様です。

これに耐えることが、いま神戸学院大生に求められているわけです。

手抜きメニューではなく、前向きに、意欲を持って学んでください。そうすれば、かなりの成果を保證することが可能です。

実力の証明、「資格・検定」に挑戦しよう!

また、共通教育のプログラムは、みなさんがさまざまな外国語や情報処理の検定試験を受験するためのメニューも用意しています。

確かに、資格のあるなしによって、将来の進路が決まってくる場合があります。大学生の間に資格を取っておくべきだったと後悔しないためにも、「資格・検定」に挑戦することを考えてみましょう。

もっとも社会に出たときに有利だからといって、検定や資格取得にばかり夢中になるのも大学生としては問題がありますが、持っている能力や努力の結果を測るわかりやすいものさしであることもまた事実です。自分の資質や将来の夢などを考慮に入れながら、大いに、できれば計画的に、挑戦してほしいと思います。

将来の目標や生き方の実現のために、一歩ずつステップアップしていく自分を実感するのは、嬉しいものですし大きな励みにもなるはずです。

リテラシー科目群

外国語分野

外国語分野は、英語・中国語・ドイツ語・フランス語・朝鮮(韓国)語から選択することができます。

英 語

1年次		2年次		3年次	
前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
標準英語Ⅰ a・標準英語Ⅱ a		標準英語Ⅲ a・標準英語Ⅳ a			
標準英語Ⅰ b・標準英語Ⅱ b		標準英語Ⅲ b・標準英語Ⅳ b			
実践英語Ⅰ・実践英語Ⅱ		実践英語Ⅲ・実践英語Ⅳ			
(夏休み集中) チャレンジャー英会話					
英会話Ⅰ		英会話Ⅱ・英会話Ⅲ			
英文リーディングⅠ		英文リーディングⅡ・英文リーディングⅢ		英文リーディングⅣ・英文リーディングⅤ	
				実用英語Ⅰ・実用英語Ⅱ	

標準英語Ⅰ(a,b)～Ⅳ(a,b)

「読み、書き、話し、聞く」という基礎英語能力をバランスよく伸ばすことを目指したベーシック科目です。aはリスニング・スピーキングを、bはリーディング・ライティングを重視した内容となっています。1年次開講「標準英語Ⅰ a/Ⅱ a、Ⅰ b/Ⅱ b」はペア科目となり、a・bとも1年を通して同じクラスでの受講となります。2年次以降に関してはa・bのペアはなくなります。ただし、Ⅲ・Ⅳは年間を通じたカリキュラムですので英語力向上のためにⅢ・Ⅳは通年で受講してください。

実践英語Ⅰ～Ⅳ

高いTOEICスコアを目指す方に最適。英検準2級合格レベル以上の英語力がある人を対象としています。

チャレンジャー英会話(夏休み集中)

英会話に興味がある方にお勧め。短期間に実践的な英会話を身に付けることを目指します。

英会話Ⅰ～Ⅲ

生きた英語でしゃべったり、遊んでみたりしてみたい方のための科目です。

英文リーディングⅠ～Ⅴ

読むことを中心に訓練するクラスですが、英語による質疑応答や様々なテーマでの議論や味わい方を通じてスキルアップを目指す科目です。

実用英語Ⅰ・Ⅱ

「聞く・話す・読む・書く」という英語スキルをさらに磨き、コミュニケーション能力を高めようとするアドバンス科目です。

履修系統図

	1年次		2年次		3年次	
	第1 Semester	第2 Semester	第3 Semester	第4 Semester	第5 Semester	第6 Semester
英語基礎 (L&S)	標準英語 I a	標準英語 II a	標準英語 III a	標準英語 IV a		
英語基礎 (R&W)	標準英語 I b	標準英語 II b	標準英語 III b	標準英語 IV b		
会話	チャレンジャー英会話 (夏季集中) 英会話 I		英会話 II	英会話 III		
資格対策 (TOEIC)	実践英語 I	実践英語 II	実践英語 III	実践英語 IV		
読解		英文リーディング I	英文リーディング II	英文リーディング III	英文リーディング IV	英文リーディング V
4技能統合					実用英語 I	実用英語 II
神戸学院カレッジ (SE)	実践英語 II (夏季集中・後期単位) 英文リーディング I 英会話 I (春季集中・後期単位)					

 凡例 一括登録・クラス指定

 クラス指定なし

統一定期試験 (標準英語 I a・II a、実践英語 I～IV)

個別試験 (統一定期試験以外の英語科目)

注1：標準英語Ia・IIa及び標準英語Ib・IIbについて学力診断テスト結果をもとに上位・中位・下位レベルに分かれる（ただし、栄養学部はクラス分けなし）。

注2：標準英語IIIa・IVa及び標準英語IIIb・IVbについて人文学部は一括登録。その他学部は選択科目でクラスやレベル指定なし。

注3：2016年度現在、標準英語Ia・IIa統一試験はACE Placement Test、実践英語はTOEIC IPテストを使用。

注4：チャレンジャー英会話、英会話I～IIIは25名定員で、希望者が多い場合抽選で履修者選考。

外国語分野

ドイツ語

1年次		2年次		3年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
初級ドイツ語 Ia	初級ドイツ語 IIa	中級ドイツ語 Ia	中級ドイツ語 IIa		
初級ドイツ語 Ib	初級ドイツ語 IIb	中級ドイツ語 Ib	中級ドイツ語 IIb		
				実用ドイツ語 I	実用ドイツ語 II

注) 1年次 a と b は連携、2年次検定クラスを除き a と b は連携

初級ドイツ語 I (ab)・II (ab)

a と b はリレー式に進みます。成績評価では、a では文法と読解の能力を、b ではコミュニケーションを中心に、「話す、聴く、(読み手を想定して)書く」能力を測ります。「ヨーロッパ言語参照枠」A1 レベルが目標です。独検5級の合格圏内に入ります。

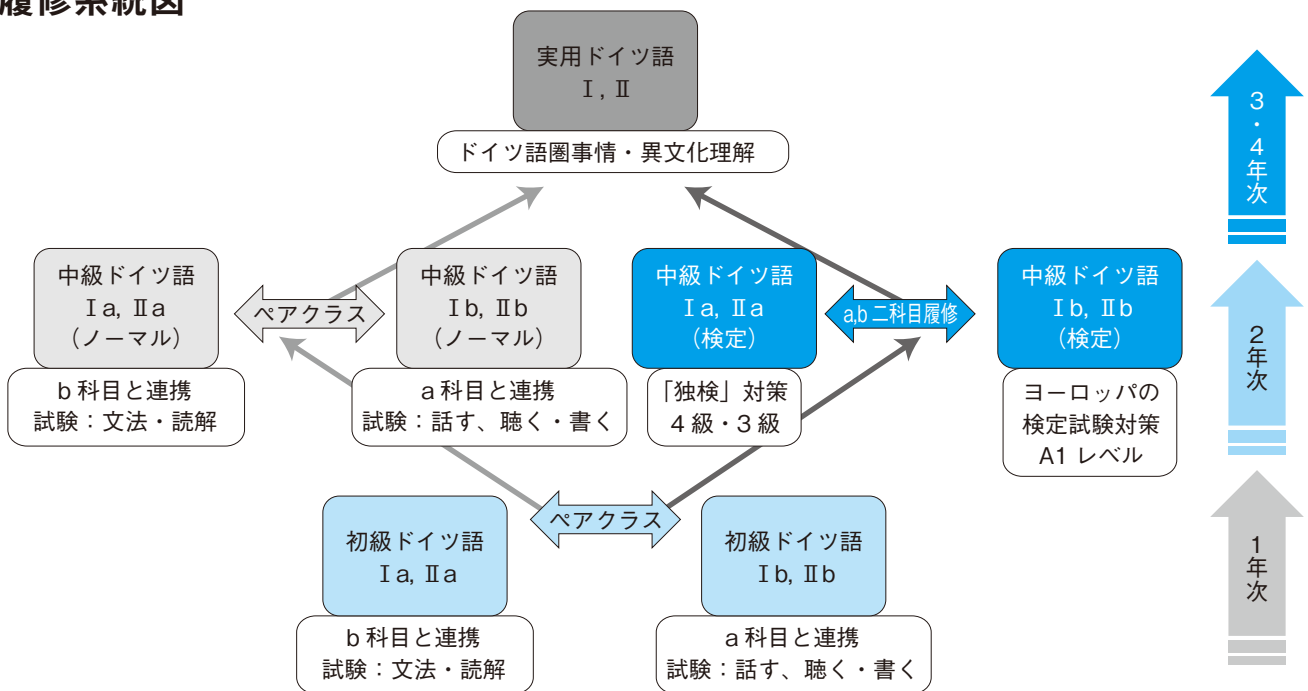
中級ドイツ語 I (ab)・II (ab)

ノーマル・クラスでは、a と b はリレー式に進みます。「ヨーロッパ言語参照枠」A1 + プラスレベルが目標です。検定クラスは、a は「独検」3、4級を目指します。b は「オーストリア政府公認ドイツ語能力試験」A1 レベルならびに、ドイツ文化センターの Start Deutsch 1 に合格するためのドイツ語運用能力を養成することを目的とします。

実用ドイツ語 I・II

ドイツ語圏と日本との比較について読んだり、聴いたり、話したり、作文したりできるようになることを目的とします。「オーストリア政府公認ドイツ語能力試験」A2 レベル、ならびにドイツ文化センターの Start Deutsch 2 に合格するためのドイツ語運用能力を養成すること、また「独検」2級の合格も目標にしています。

履修系統図



フランス語

1年次		2年次		3年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
初級フランス語 I a	初級フランス語 II a	中級フランス語 I a	中級フランス語 II a		
初級フランス語 I b	初級フランス語 II b	中級フランス語 I b	中級フランス語 II b		
				実用フランス語 I	実用フランス語 II

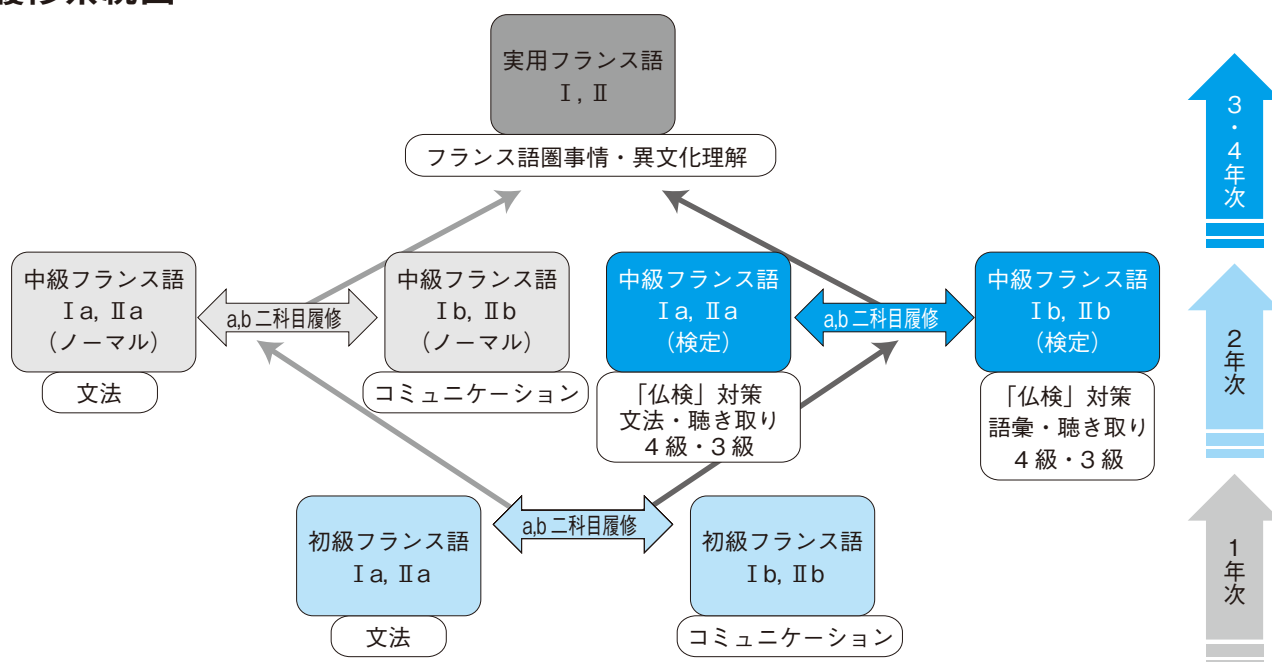
注) a: 文法クラス b: 読本クラス

初級フランス語 I (ab)・II (ab) I・II aでは文法。I・II bでは読解、会話。フランス語検定試験5級を目指します。

中級フランス語 I (ab)・II (ab) I・II aでは文法、I・II bでは会話聞き取りの練習。フランス語検定試験3、4級を目指します。

実用フランス語 I・II フランス語の総まとめ、新聞、映画、音楽などを楽しみながら、仏検準2級、2級を目指します。

履修系統図



外国語分野

中国語

1年次		2年次		3年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
初級中国語Ⅰa	初級中国語Ⅱa	中級中国語Ⅰa	中級中国語Ⅱa		
初級中国語Ⅰb	初級中国語Ⅱb	中級中国語Ⅰb	中級中国語Ⅱb		
中国語入門会話Ⅰ	中国語入門会話Ⅱ	中国語基礎会話Ⅰ	中国語基礎会話Ⅱ	中国語会話Ⅰ	中国語会話Ⅱ
				中国語リーディングⅠ	中国語リーディングⅡ
				実用中国語Ⅰ	実用中国語Ⅱ

注) 初級中国語Ⅰa・Ⅱaは「読物編」、Ⅰb・Ⅱbは「会話編」。各1冊のテキストを1年間使用します。

初級中国語Ⅰ(ab)・Ⅱ(ab) 中国語習得の鍵は発音にあります。この時期のポイントは発音と簡体字、基本的な文法事項のマスターです。aとbで使用する2冊のテキストは内容が関連しています。相互に関連する事項をaでは読解を中心に学び、bでは会話を中心に学ぶことにより、バランス良く基礎を習得します。Ⅰ・Ⅱは継続して、またa・bは平行して履修しなければなりません。ただし、再履修クラスはこの限りではありません。

中級中国語Ⅰ(ab)・Ⅱ(ab) 初級中国語を終了した、あるいはそれと同等以上の基礎力のある人を対象としたクラスです。検定クラスとノーマルクラスに分かれます。検定クラスは6月に4級、11月に3級に合格することが目標です。検定クラスはそれらの級に合格することにより定期試験の受験が免除された上で最上級の評点が与えられます。また、検定試験に合格しなくても、定期試験を受験して合格することにより一定の評点が与えられます。ノーマルクラスⅠa・Ⅱaは読解を中心に、Ⅰb・Ⅱbは会話を中心に学習します。検定クラスとノーマルクラスは平行して履修することができません。また、検定クラス・ノーマルクラス共に、Ⅰ・Ⅱを継続して、またa・bを平行して履修しなければなりません。

中国語入門会話Ⅰ・Ⅱ ネイティブの先生による少人数クラスで、会話の初歩を学習します。初級中国語の補習クラスという位置づけですが、初級中国語を履修せずに他言語の初級科目を履修している人であってもこの科目を履修することができます。Ⅰ・Ⅱは継続して履修しなければなりません。

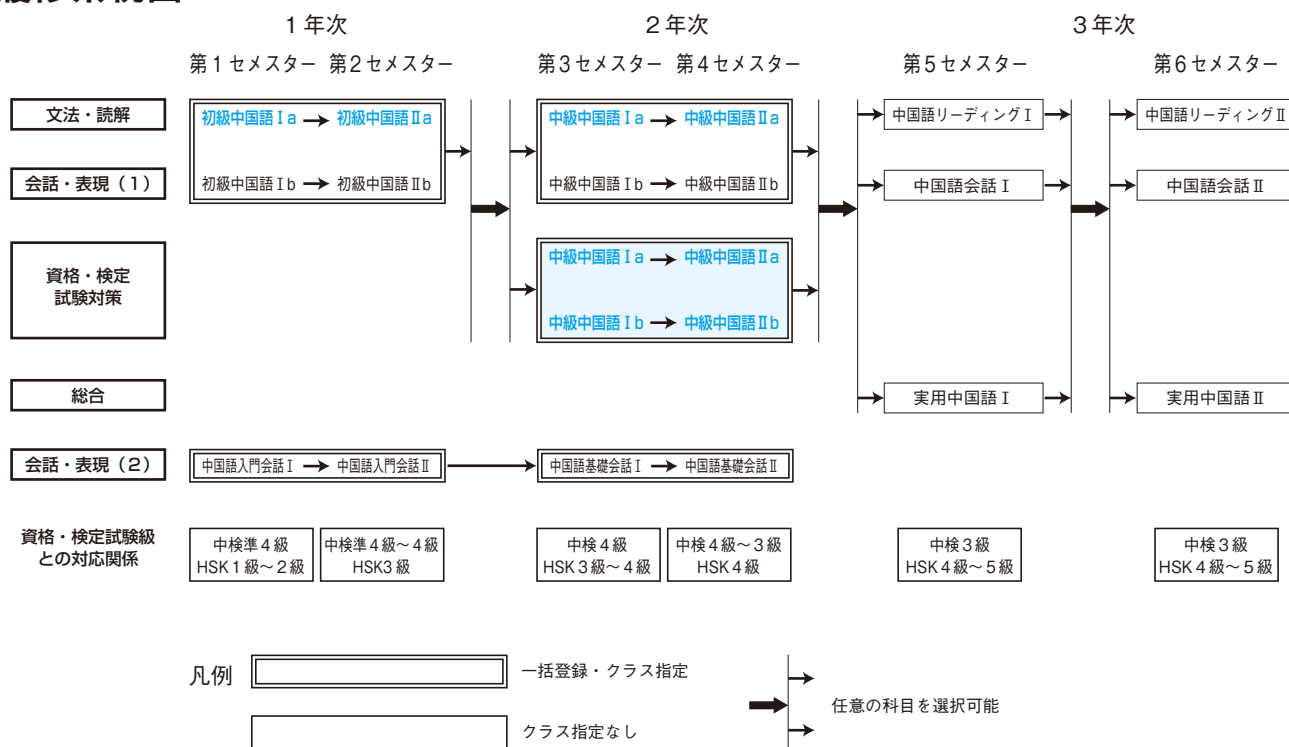
中国語基礎会話Ⅰ・Ⅱ ネイティブの先生による少人数クラスで、会話の基礎を身に付けます。初級中国語と中級中国語との中間程度にレベルを設定しています。中級中国語の内容を補完するという位置づけですが、初級中国語を履修したのと同等の基礎力があれば、他言語の初級科目を履修した人であってもこの科目を履修することができます。Ⅰ・Ⅱは継続して履修しなければなりません。

中国語会話Ⅰ・Ⅱ 中級中国語を終了した、あるいはそれと同等以上の学力のある人を対象としたクラスです。ネイティブスピーカーを相手に会話を実践することにより会話力を向上させます。自分の考えを中国語で話してみましょう。少人数だからこそできる授業です。Ⅰ・Ⅱは連続した内容なので共に履修することが望ましいのですが、それぞれを単独で履修することもできます。

中国語リーディング I・II 中級中国語を終了した、あるいはそれと同等以上の学力のある人を対象としたクラスです。辞書を頼りにナマの中国語が読める能力を養います。I・IIは連続した内容なので共に履修することが望ましいのですが、それぞれを単独で履修することもできます。

実用中国語 I・II 中級中国語を終了した、あるいはそれと同等以上の学力のある人を対象としたクラスです。教材用ではない生(ナマ)の中国語ニュースを材料にして中国の今(イマ)を学びます。中国の今を理解するために不可欠な情報を得ることができます。I・IIの内容に連続性はなく、それぞれを単独で履修することができますが、共に履修の方が望ましいことは言うまでもありません。

履修系統図



注1：中級中国語は、文法・読解系および会話・表現(1)系と資格・検定試験対策系とは排他履修

注2：資格・検定試験対策系の中級中国語は中国語検定試験（中検）の合格級を成績に反映させる

注3：会話・表現(2)系の中国語入門会話・基礎会話は中国語で初歩的な会話ができるようになることに特化した科目；他の系統と同時に履修することもできるし、この系統だけを履修することも可能

外国語分野

朝鮮（韓国）語

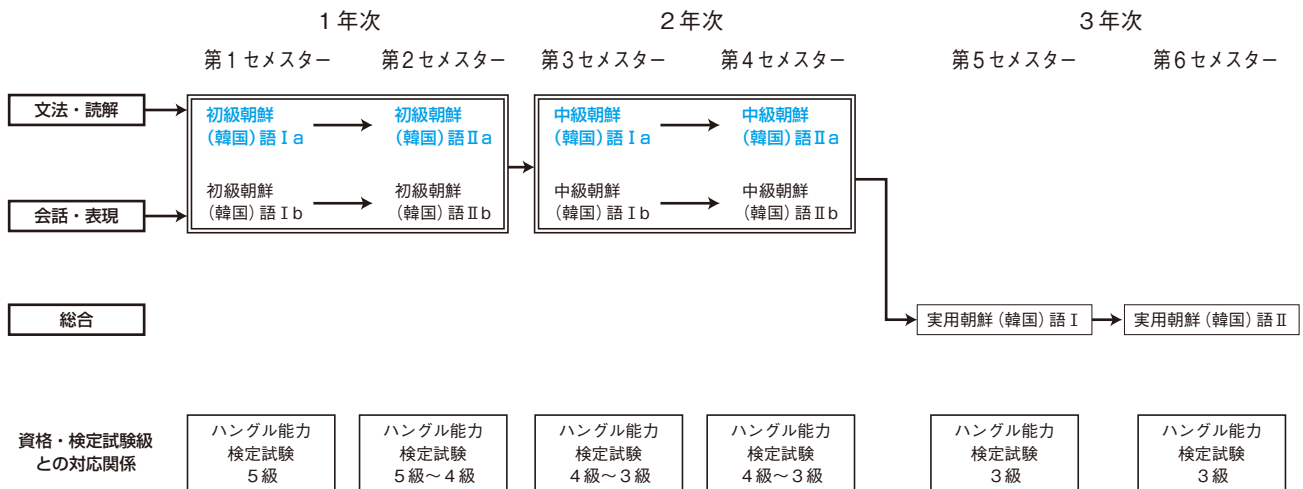
1年次		2年次		3年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
初級朝鮮（韓国）語 I a	初級朝鮮（韓国）語 II a	中級朝鮮（韓国）語 I a	中級朝鮮（韓国）語 II a		
初級朝鮮（韓国）語 I b	初級朝鮮（韓国）語 II b	中級朝鮮（韓国）語 I b	中級朝鮮（韓国）語 II b		
				実用朝鮮（韓国）語 I	実用朝鮮（韓国）語 II

初級朝鮮（韓国）語 I (ab)・II (ab) I a・I bの学習の中心は発音と文字(ハングル)です。文字が読めると、がぜん朝鮮(韓国)語が身近になります。II a・II bから本格的に文法を学びます。I・IIは継続して、またa・bは平行して履修しなければなりません。

中級朝鮮（韓国）語 I (ab)・II (ab) I a・I bでは引き続き、文法・表現・単語を学びます。II a・II bでは基本文法を仕上げます。日常会話に必要な基本的表現が使えるようになります。I・IIは継続して、またa・bは平行して履修しなければなりません。

実用朝鮮（韓国）語 I・II 新聞、雑誌などが辞書を使って読めるようになります。IIではハングル検定3級合格の力をつけることが目標です。I・IIは連続した内容なので共に履修することが望ましいのですが、それぞれを単独で履修することもできます。

履修系統図



凡例 一括登録・クラス指定

 クラス指定なし

情報分野

情報分野は2つの科目群から構成されています。一つは【基礎情報処理実習】と呼ばれる科目、もう一つは【情報処理応用】と呼ばれる科目です。科目名称によって授業内容が異なります。

1年次 開講科目

前 期	後 期
基礎情報処理実習Ⅰ 【情報リテラシー入門科目】 開講時間は各学部により異なります	基礎情報処理実習Ⅱ 【情報リテラシー入門科目】 開講時間は各学部により異なります
情報処理応用Ⅰ 【資格取得を目指した科目】 (Microsoft Office Specialist : Word) KAC : 木曜日 1 限目、KPC : 金曜日 1 限目	情報処理応用Ⅲ 【資格取得を目指した科目】 (Microsoft Office Specialist : Excel) KAC : 木曜日 1 限目、KPC : 金曜日 1 限目
情報処理応用Ⅱ 【Excel 活用実践】 KAC : 木曜日 2 限目、KPC : 金曜日 2 限目	情報処理応用Ⅳ 【Word によるビジネス文書作成技術】 KAC : 木曜日 2 限目、KPC : 金曜日 2 限目

情報処理応用Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの履修上の注意

- A) コンピュータ操作の初心者を対象にした開講科目ではありません。
- B) Word や Excel のさらなるスキル向上を目指す学生は、積極的に履修登録してください。

2年次 開講科目

前 期	後 期
基礎情報処理実習Ⅲ 【ビジネスシーンの Word、Excel 活用】 KAC : 月曜日 1 限目、KPC : 月曜日 1 限目	基礎情報処理実習Ⅴ 【日商 PC 検定データ活用】 KAC : 月曜日 2 限目、KPC : 月曜日 1 限目
基礎情報処理実習Ⅳ 【Web クリエイター能力検定試験初級】 KAC : 月曜日 2 限目、KPC : 月曜日 2 限目	基礎情報処理実習Ⅵ 【日商 PC 検定ビジネス文書作成】 KAC : 月曜日 1 限目、KPC : 月曜日 2 限目
情報処理応用Ⅴ 【プレゼンテーション】 KAC : 火曜日 3 限目、KPC : 金曜日 4 限目	情報処理応用Ⅵ 【Web ページ作成方法】 KAC : 火曜日 3 限目、KPC : 金曜日 4 限目

資格取得、および情報リテラシー向上を実現する絶好の機会です。学士力（大学生が卒業までに身につけておくことが望まれる能力）の向上とともに、自信を持てる情報活用能力の会得を希望する学生は、履修することを強く勧めます。

※薬学部では2年次開講科目が受講できません。

情報分野 履修系統図

分類	1年次			2年次		
	対象資格・検定	第1 Semester	第2 Semester	対象資格・検定	第3 Semester	第4 Semester
総合	* 1	基礎情報処理実習 I	基礎情報処理実習 II			
文章処理	MOS Specialist	情報処理応用 I 基礎情報処理実習 I (情報基礎とWord基礎)		日商PC検定		基礎情報処理実習 VI
	特に対象を定めない		情報処理応用 IV	特に対象を定めない	基礎情報処理実習 III * 2	
データ処理	MOS Specialist		情報処理応用 III 基礎情報処理実習 II (Excelの基礎)	日商PC検定		基礎情報処理実習 V
	特に対象を定めない	情報処理応用 II		特に対象を定めない	基礎情報処理実習 III * 2	
プレゼンテーション	MOS Specialist	基礎情報処理実習 I (Power Point Mos)		MOS Specialist	情報処理応用 V (Power Pointと プレゼンテーション)	
	特に対象を定めない		基礎情報処理実習 II (Power Point ビジネス活用)			
情報発信 (Web)				ウェブデザイン技能 検定		情報処理応用 VI
				Webクリエイター能力 認定試験	基礎情報処理実習 IV	

凡例 学部向け開講クラス (学部により、一括登録・クラス指定がある)

- * 1 学部により、検定の設定に有無がある
- * 2 同一科目で、文章処理、データ処理を共に学びます

注1：対象資格・検定欄において「特に対象を定めない」とある科目は、実践的内容、よりレベルの高い内容を含みます。

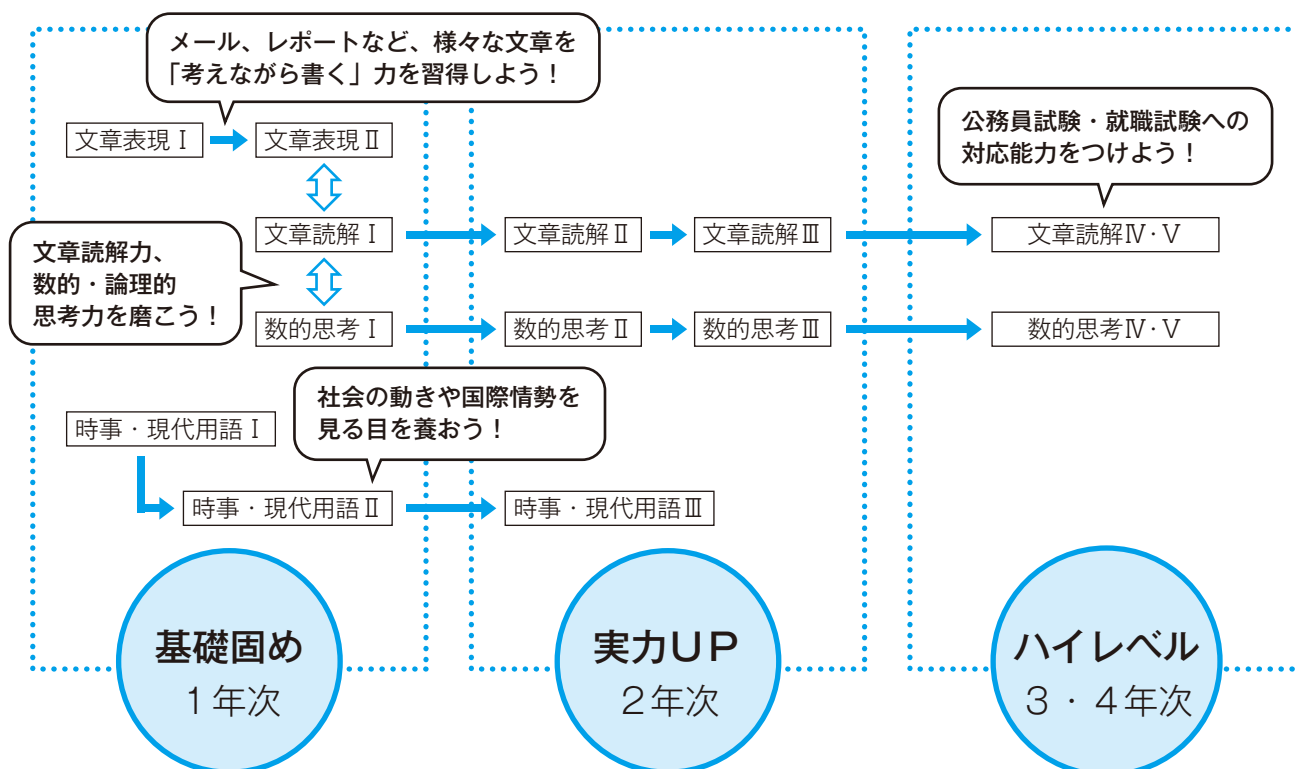
注2：一部学部では履修できない科目があります。所属学部履修の手引を参照してください。

基礎思考分野

大学での専門教育の基礎となる学習スキルの習得、
社会へ旅立つ上で不可欠な基礎学力の養成に効果的な科目群

基礎学力・基礎的なスキルの向上に向けて、この分野を有効に活用しよう！

就職試験、各種公務員試験などの対策にも効果的な科目で構成されていて、＜課外講座＞との併用でかなりの実力アップが期待できます。



＜アドバイス＞

将来、公務員試験の受験を目指す人には、この分野の科目を多く履修することをお勧めします。また、ある程度の基礎力が付いたら、＜課外講座＞の公務員採用試験対策講座との併用で実力アップを目指してください。

＜ 注 意 ＞

「文章表現Ⅰ」「文章表現Ⅱ」については、履修登録が義務付けられている学部がありますので、『履修の手引』でよく確認してください。

履修系統図

	1年次		2年次		3年次	
	第1 Semester	第2 Semester	第3 Semester	第4 Semester	第5 Semester	第6 Semester
文章表現	文章表現Ⅰ	文章表現Ⅱ				
文章読解		文章読解Ⅰ	文章読解Ⅱ	文章読解Ⅲ	文章読解Ⅳ	文章読解Ⅴ
数的思考		数的思考Ⅰ	数的思考Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		数的思考Ⅴ	
時事・現代用語	時事・現代用語Ⅰ	時事・現代用語Ⅱ	時事・現代用語Ⅲ			

※「文章表現」「文章読解」の各科目は履修人数制限があります。

※「文章表現Ⅰ・Ⅱ」は履修必修になっている学部もあります。

社会人入門分野

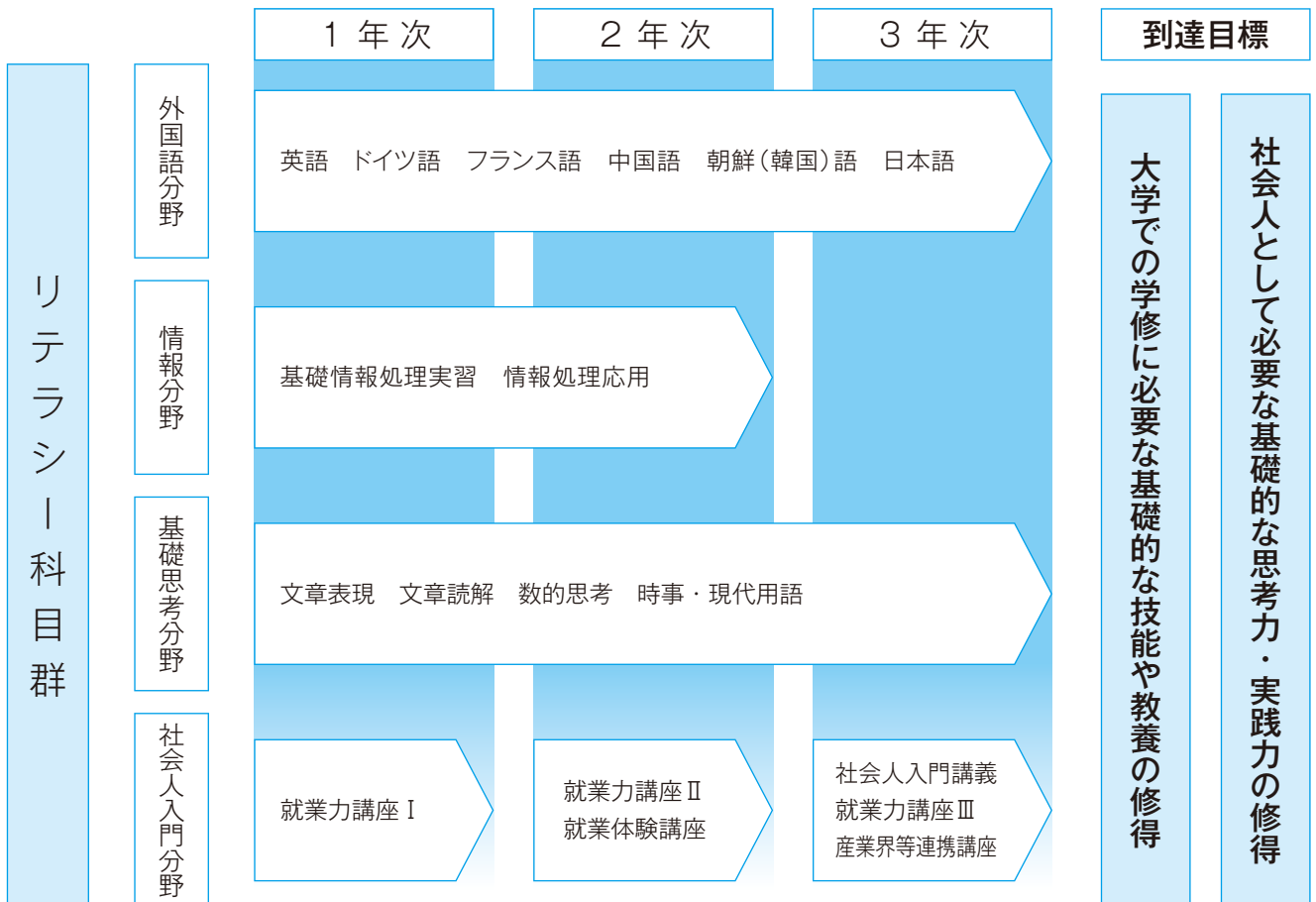
社会人入門分野では、入学直後の第1 Semester（1年次前期）から、体系的にキャリア関連科目を開講しています。

将来の進路実現に向け就業力を高めるため、1年次では自己理解や自己分析を行い、学生生活を通じた自分自身のキャリアデザインを考えます。2年次ではさらに社会人へ向けた意識をもって学生生活を過ごせるよう、より実践的な体験プログラムやケーススタディ等を通して自己理解を深めます。3年次では実際に企業や行政等へ赴いてのフィールドワークや、各業界で活躍する社会人を講師として招聘し、実社会の現状や貴重な体験談を伺うことにより、実践的就业力の向上を図ります。

また、同時に社会への関門を突破するうえで必要な、あるいは社会人として最低限必要とされるような知識・情報・技能を習得できるよう、有効な実学的関連科目も開講しています。

1年次	2年次		3年次	
前期	前期	後期	前期	後期
就業力講座Ⅰ	就業力講座Ⅱ		就業力講座Ⅲ	
	就業体験講座		産業界等連携講座	
			社会人入門講義Ⅰ	社会人入門講義Ⅱ

リテラシー科目群履修の流れ

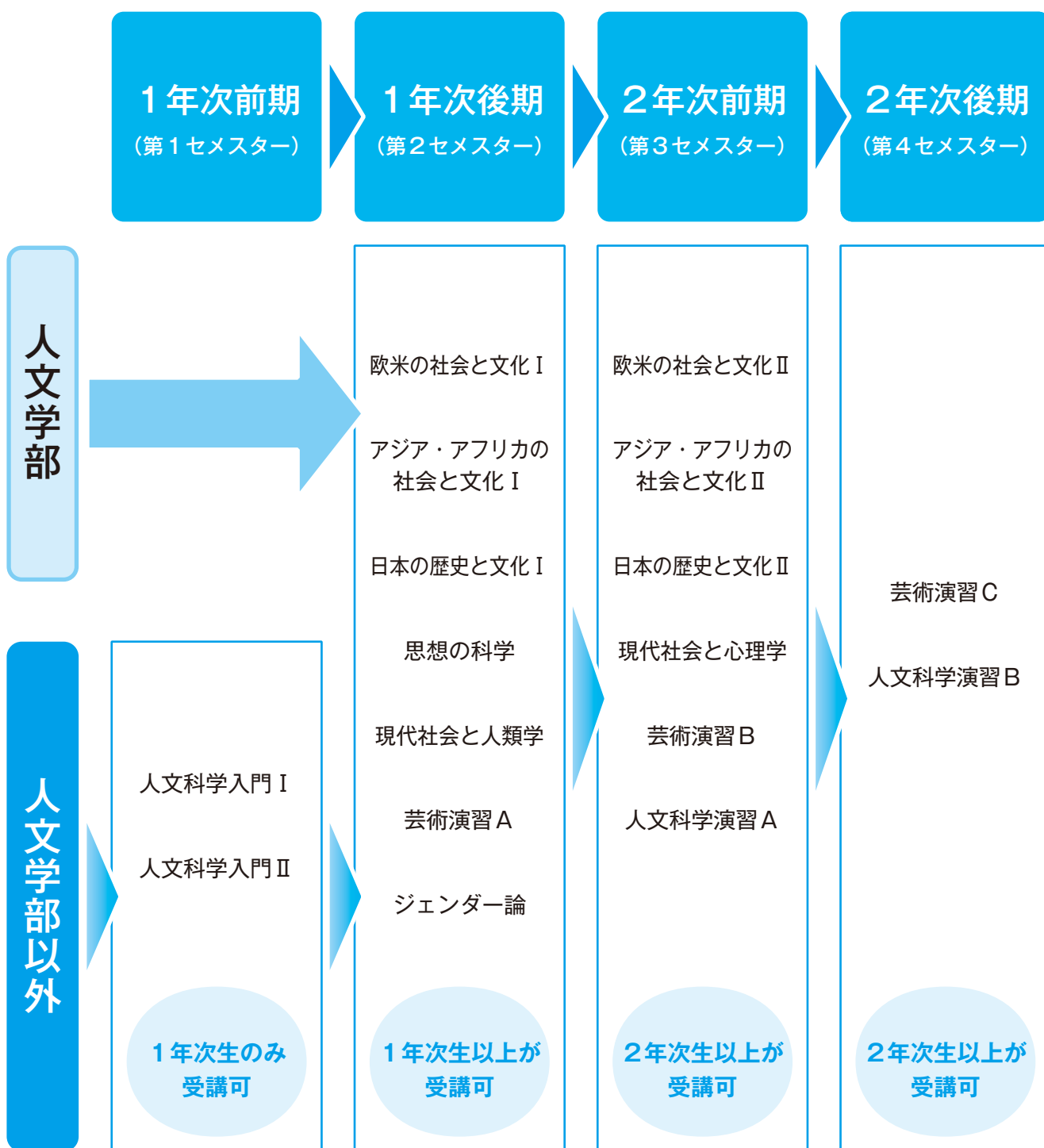


リベラルアーツ科目群

人文科学分野

芸術、音楽、人類学、心理学、思想・哲学を中心に、世界各地の文化や歴史について幅広く学びます。欧米やアジア諸国の社会や文化について学ぶ科目は、外国語を学ぶ際に役立つでしょう。なお、科目名が同一でも担当者によって講義の内容が異なるので、シラバスでよく確認してください。

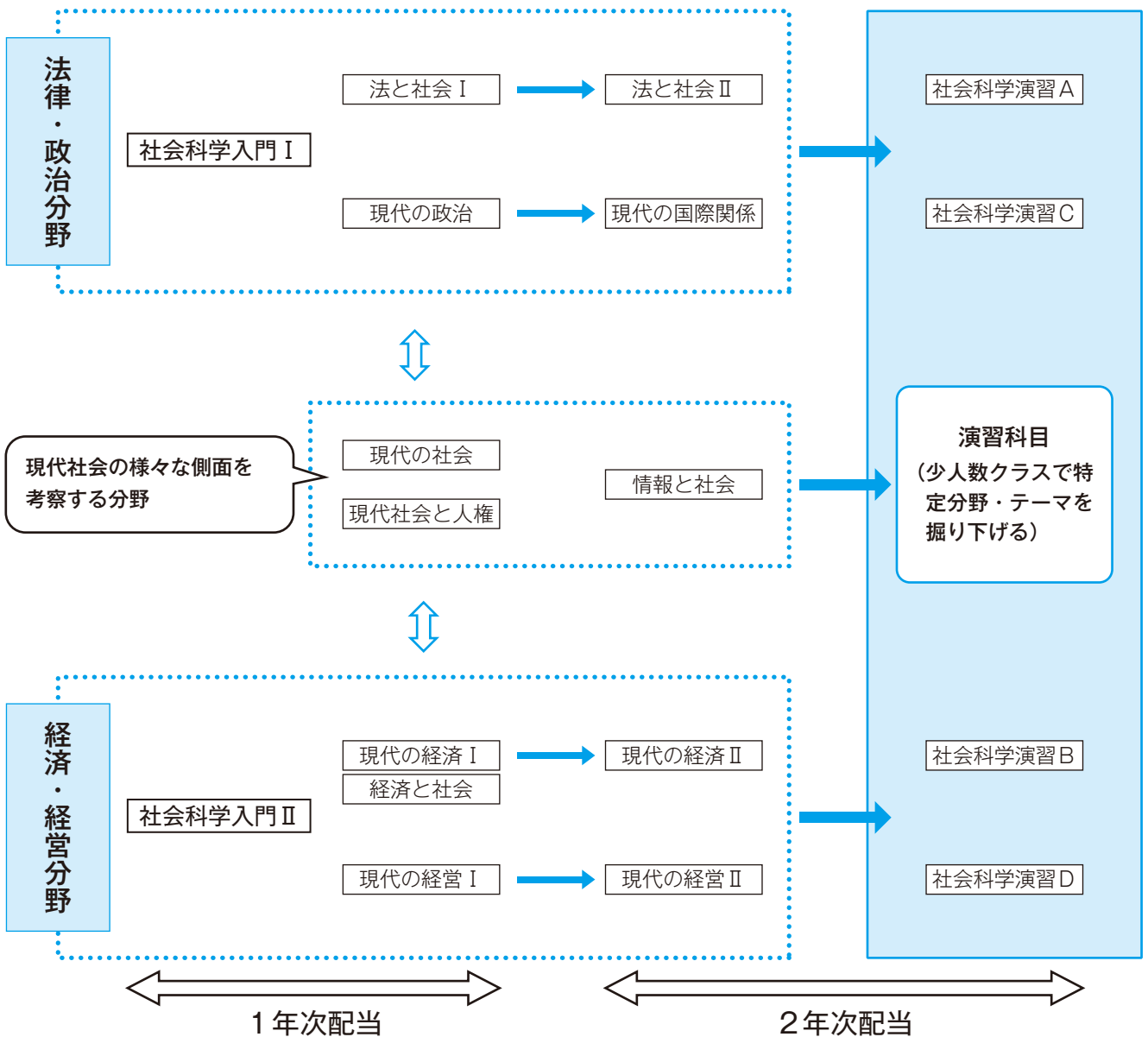
大人数のクラスもありますが、「芸術演習」や「人文科学演習」は人数制限を設けているので少人数で学ぶことができます。



社会科学分野

法学、政治学・国際関係、経済学、経営学の分野、および現代社会のさまざまな現象をめぐるトピックスなど、社会科学分野の基礎知識や思考方法を学びます。

現代社会を見る眼を養うのに適した分野です。基礎思考分野（P 13）の「時事・現代用語」と合わせて受講することで、常識力アップに役立ちます。なお、科目名が同一でも担当者によって講義の内容が異なるので、シラバスでよく確認してください。



< 注 意 >

- 「社会科学入門Ⅰ」「法と社会Ⅰ」「法と社会Ⅱ」「現代の政治」「社会科学演習A」「社会科学演習C」は、法学部では開講されません。
- 「社会科学入門Ⅱ」「現代の経済Ⅰ」「現代の経済Ⅱ」「経済と社会」「現代の経営Ⅰ」「現代の経営Ⅱ」「情報と社会」「社会科学演習B」「社会科学演習D」は、経済学部および経営学部では開講されません。

健康科学分野

本学に設置されている健康に関する4つの学部・学科（人文学部人間心理学科、総合リハビリテーション学部、栄養学部、薬学部）の先生方がそれぞれの専門分野に関する話題をわかりやすく講義します。

1年次前期 (第1セメスター)

健康科学入門

1年次後期 (第2セメスター)

食の科学Ⅰ

薬の科学Ⅰ

環境の科学Ⅰ

現代の医療と福祉Ⅰ

現代の障害者問題

こころの科学

ヒトの科学

2年次前期 (第3セメスター)

食の科学Ⅱ

薬の科学Ⅱ

食薬文化論

環境の科学Ⅱ

現代の医療と福祉Ⅱ

健康科学演習A*

2年次後期 (第4セメスター)

健康科学演習B*

健康科学演習C*

*健康科学演習A、B、Cでは、「食の科学」から「ヒトの科学」までの12科目のうち1科目をとりあげて演習を行います。

科目名称が同じでも担当者によって講義の内容が異なります。
シラバスをよく読んで選択してください。

健康科学分野（スポーツ科学）

スポーツ科学入門、スポーツ科学演習A・B・C

スポーツ科学入門は、スポーツ科学演習A・B・Cの入門講義である。スポーツ科学の基礎を紹介するとともに、競技規則などについても説明を行う。スポーツ経験の有無を問わず、スポーツの楽しさや喜び、すばらしさを共有し、スポーツの意義やスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」際の魅力を紹介する。

スポーツ科学演習は、実技の理論を講義で学び、講義の内容を実技で実践する形式をとっている。科目の構成は、個人的・集団的活動に関する実践的理解が中心となる。身体運動の実践による技能の向上と競技規則および戦術などを理解する（キャンパスにより種目は異なる）。

1 年 次		2 年 次	
前 期	後 期	前 期	後 期
スポーツ科学入門	スポーツ科学演習A	スポーツ科学演習B	スポーツ科学演習C



ゴルフ
テニス
卓球
ヨガ
バスケットボール
サッカー
バレーボール
バドミントン
ソフトボール

テニス
卓球
ヨガ
バスケットボール
サッカー
バレーボール
バドミントン

バスケットボール
サッカー
バレーボール
バドミントン

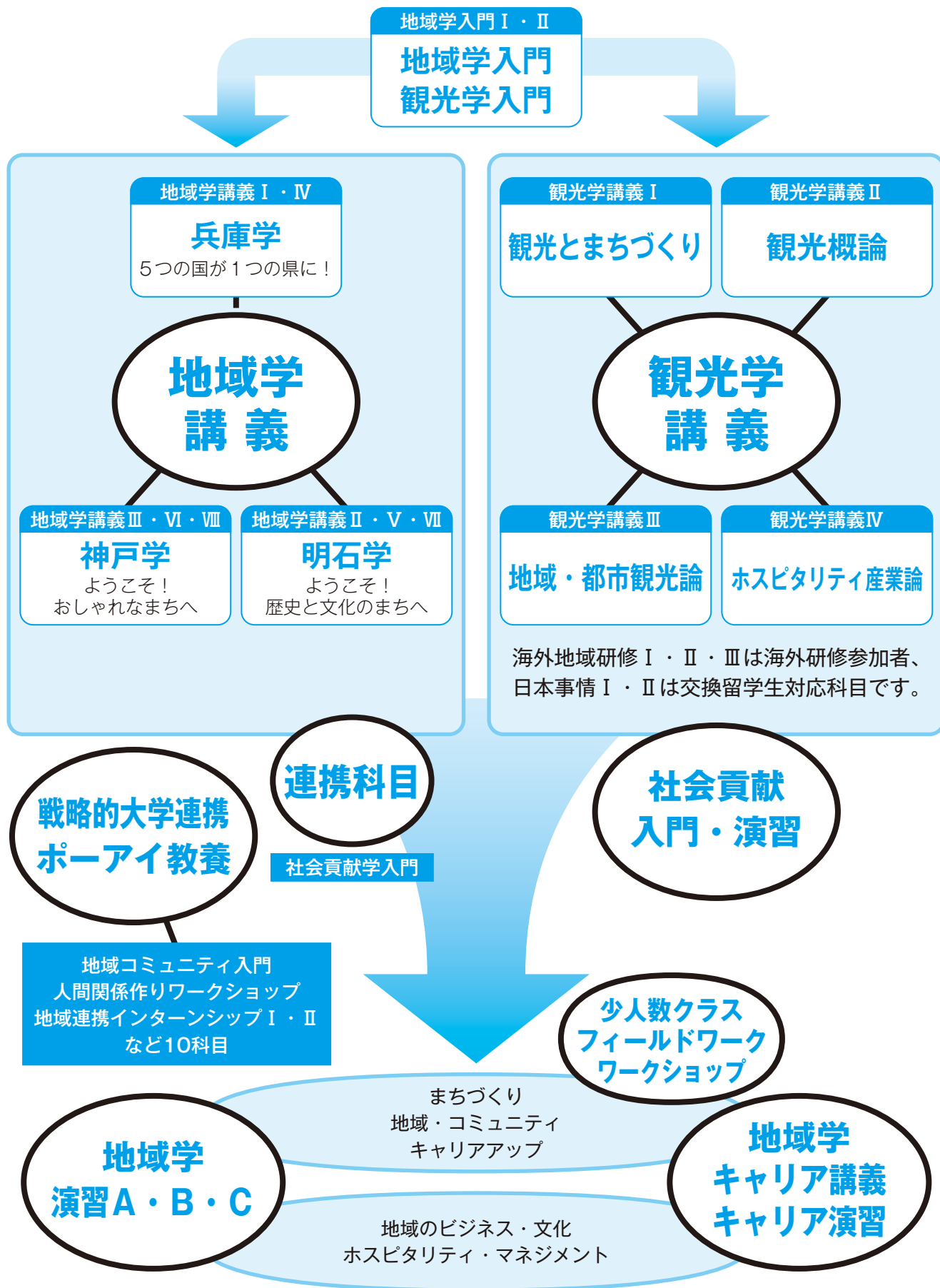


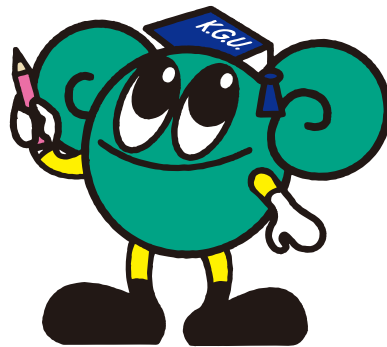
スポーツと健康 I・II

近年わが国では、高齢社会を迎えているなかで「健康」や「体力」に対する関心は非常に高いものがある。生涯にわたってスポーツとかかわり、「健康で豊かな日々を過ごす」ために必要なスポーツの文化的特質、身体運動の仕組みなどを学ぶ。

1 年 次	2 年 次
後 期	前 期
スポーツと健康 I	スポーツと健康 II

地域学分野





神戸学院大学

共通教育センター

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518番
TEL (078) 974-1551(代)